

乳幼児検診で指定会場 に行くのが困難な家庭 への支援について

2022年3月町田市議会 矢口まゆ

通告内容

ご家族やお子さんに障がいや持病があったり、多胎児家庭であったり、未就園児の兄弟姉妹がいる家庭など、集団検診の指定場所まで行くのが困難な家庭に対しての支援が必要と考える。

①集団検診場所に行くのが困難な家庭に対しては、近隣のかかりつけ医などで健診を受ける場合の費用を補助してあげてはどうか。

②乳幼児健診に行く際の兄弟姉妹の一時保育の利用料を補助してはどうか。

③南地域での実施についての検討状況は。

乳幼児健診の実施場所について

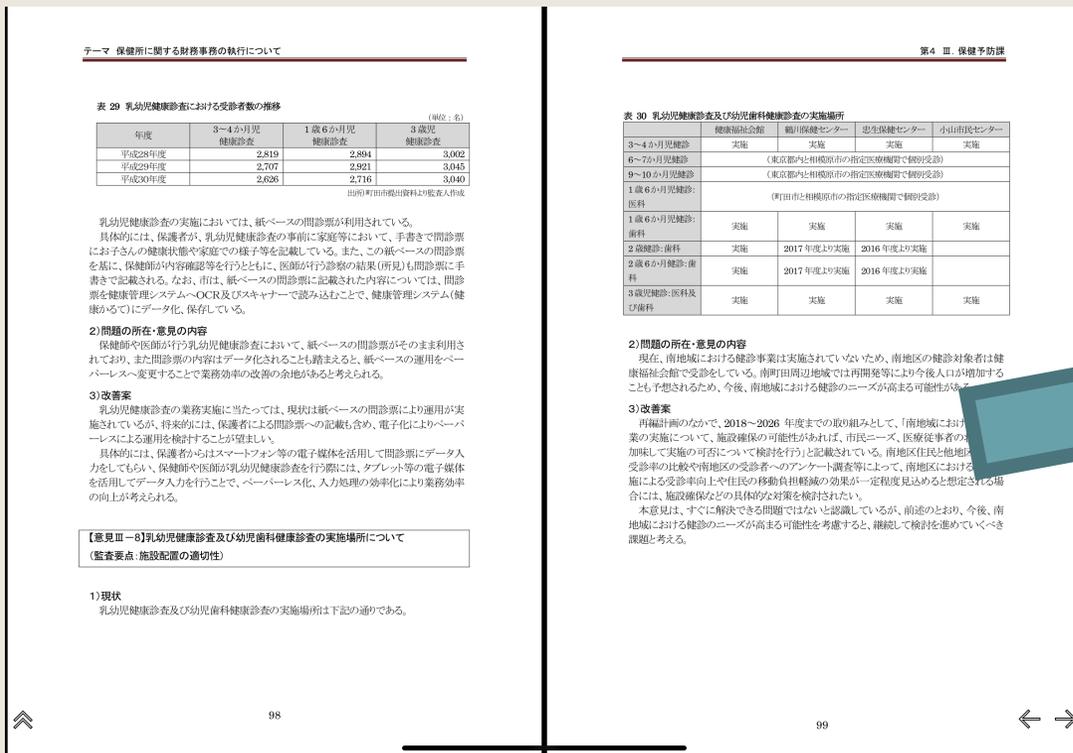


表 30 乳幼児健康診査及び幼児歯科健康診査の実施場所

	健康福祉会館	鶴川保健センター	忠生保健センター	小山市民センター
3～4か月児健診	実施	実施	実施	実施
6～7か月児健診	(東京都内と相模原市の指定医療機関で個別受診)			
9～10か月児健診	(東京都内と相模原市の指定医療機関で個別受診)			
1歳6か月児健診: 医科	(町田市と相模原市の指定医療機関で個別受診)			
1歳6か月児健診: 歯科	実施	実施	実施	実施
2歳健診: 歯科	実施	2017年度より実施	2016年度より実施	
2歳6か月健診: 歯科	実施	2017年度より実施	2016年度より実施	
3歳児健診: 医科及び歯科	実施	実施	実施	実施

2)問題の所在・意見の内容

現在、南地域における健診事業は実施されていないため、南地域の健診対象者は健康福祉会館で受診をしている。南町田周辺地域では再開等により今後人口が増加することも予想されるため、今後、南地域における健診のニーズが高まる可能性がある。

3)改善案

再編計画のなかで、2018～2026年度までの取り組みとして、「南地域における健診事業の実施について、施設確保の可能性があれば、市民ニーズ、医療従事者の状況等を加味して実施の可否について検討を行う」と記載されている。南地区住民と他地区住民の受診率の比較や南地区の受診者へのアンケート調査等によって、南地区における施設による受診率向上や住民の移動負担軽減の効果が一定程度見込めると想定される場合には、施設確保などの具体的な対策を検討されたい。

本意見は、すぐに解決できる問題ではないと認識しているが、前述のとおり、今後、南地域における健診のニーズが高まる可能性を考慮すると、継続して検討を進めていくべき課題と考える。

健診に行くのが困難って...？

- 例えば...
- 自宅：南町田
- 健診場所：健康福祉会館
- メンバー：生後3か月の女の子、2才の男の子
- →バスで乗り換えが必要（バスはノンステップでない可能性あり）／行きで1時間弱かかりママはくたくた／到着後もお兄ちゃんは自由に遊べなくて不機嫌／保健師さんや医師の方に相談したい事があったけど、3か月の妹を抱っこしつつお兄ちゃんの面倒も見ているため話しに集中ができない／健診が終わったあと、また1時間弱かけて帰宅するがお兄ちゃんは自由がなくて不機嫌で泣き叫びベビーカーに乗せても脱走...

ごく一般的な子育て家庭でもこんな状況になる...